



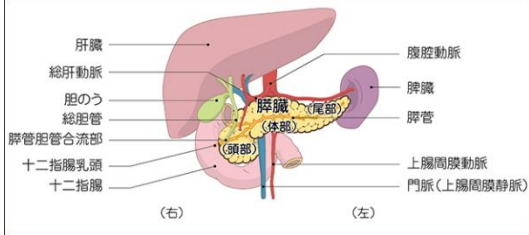
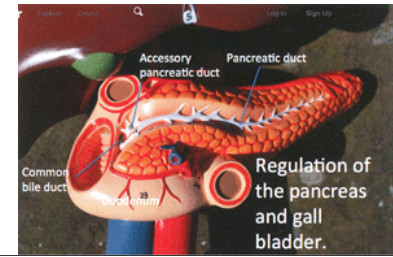
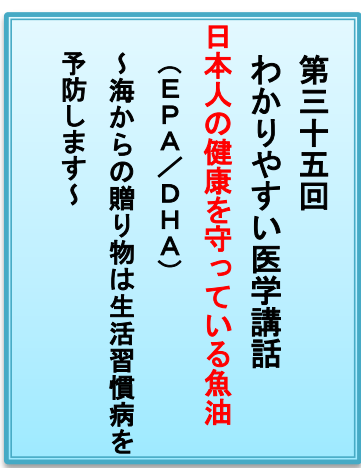
第三十五回
わかりやすい医学講話
日本人の健康を守っている魚油
 (EPA/DHA)
 ～海からの贈り物は生活習慣病を予防します～

講師
 東邦大学医療センター 佐倉病院
 糖尿病内分泌代謝センター教授
 龍野 一郎先生

日時
 平成三十年二月三日 (土)
 開場 十三時三十分
 講話 十四時～

場所
 南足柄市文化会館小ホール

入場無料



医者である私には、元氣だった人に突然膵臓がんが見つかり大変悲しい思いをした事があります。みな様の中にも、身近な人が突然膵臓がんと言われ驚かれた経験のある方も多勢おられると思います。これが悲しいことに発見された時、ほとんど助からないということなのです。どうしてこうなってしまうのか。

人体の秘境 “膵臓がん”

メタボ対策に魚からとれるEPA、DHAの油性成分が効果あります。その恩恵を認識して生活しましょう。

現在テレビなどからの情報には医学的にはあやしいものも多いのです。医師会が選んだ確かな情報を手に入れて下さい。

- 【1】症状**
- ① 検査で発見しにくい
膵臓は体の奥深く(肝臓や胃などの裏側の隠れた場所)にあり検査が難しい。
 - ② がんが転移しやすい
膵臓がんの多くは「膵管」に発生しますが膵管はリンパ管や血管とつながっているため転移しやすい。
 - ③ 特徴的自覚症状がない
膵臓がんが早期に発見されにくい理由は、自覚症状がなかなか現れず、また膵臓がん特有の特徴的的症状がないためです。
- 膵臓がんの症状として共通しているのが、胃のあたりや背中が重苦しい、お腹の調子がよくない、食欲不振やだるさ、体重減少などがあります。いずれも膵臓がん特有の症状でなく胃腸の調子が悪い程度のもので見過ごしてしまいがちです。
- 膵臓がんがある程度進行するとはっきり黄疸が出たり、腹痛も強くなり、背中や腰に痛みがはしり、体重の減少といった症状もみられるようになります。膵臓がんが糖尿病を併発することもあるので、その方の注意も必要です。



- 【2】診断**
- 分かり難い膵臓がんですがどうすれば発見できるのか。私が発見したのは2例とも超音波検査です。
- 何か調子悪いという人を超音波検査で膵臓がんと気付きました。ですから私は胃の検査時は同時に、ほぼ必ず超音波検査を行います。
- 大病院の外科では手術前にはほぼ全例、腹部CT検査を行っています。その方からの発見もあると思いますが、血液の検査からはアミラーゼ、アルカリフォスファターゼ、CA19-9の検査などありますが、こちらの方からの発見例はあまりない様です。発見された後に確認する検査としては十二指腸内視鏡、十二指腸鏡+超音波、PET検査などがあります。
- 【3】治療**
- 手術のみです。発見が遅く手術不可能のものは、そのまま終末期の治療となります。ごめします。

院長



院長誕生日 (1月10日)

みなさんの質問や投稿をお待ちしております。

☆受付けからのお願い
 月初めには必ず保険証を受付にお出し下さい。
 診察券は毎回お持ち下さい。

☆編集に当たり校正には十分注意致しましたが、誤字・脱字等がありましたらご容赦下さい。

1月・2月の休診日

休診 日曜・祭日
 午後休診 水曜・土曜

1月25日(木) 午後休診
 1月26日(金) 午後休診



E・メールを送って下さい。
 norikazu@okutu.jp